

広報

No.155

くらみ

昭和61年5月15日

発行・編集 国見町企画課

おもな内容

第二次国見町振興計画	2～3
献血まつりで 219人が献血	4～5
事業所統計調査にご協力を	6
ふるさとの文化財	7
おしらせ	8～9
公民館だより	10～11
わだい	12



'86

5月

すまとうんくにみ

2

山ツツジが咲き競う阿津賀志山山頂

# すがたをえがく

昭和51年3月、町振興計画を策定し、農業・工業・商業・地場産業などを積極的に推進してきました。しかしながら、現在わが町も近年の社会経済情勢、産業構造の変化のなかで、地方自治をめぐる財政の硬直化は進行し、かつてない厳しい状況になっています。このような状況にあつて、町勢の飛躍的繁栄をめざし、先に策定された振興計画を見直し、昭和70年度を指標とした「第二次国見町振興計画」が出来ました。

「第二次国見町振興計画」は、一年前から、町の各分野の代表者で構成された「振興計画審議会」で審議検討され、さる三月の定例町議会で議決されました。

この計画は、住民福祉の向上と産業開発、生活環境の改善、社会福祉、教育など、あらゆる分野から見た長期的な計画で、わが町の進む方向が明示されています。

計画の構成は次の三部門に分かれています。

## (1) 基本構想

昭和六十一年度を初年度とし、昭和七十年度を目標とする十年計画です。

## (2) 基本計画

「第二次国見町振興計画」は、「明るく豊かで、住みよいまち」づくりのための、農業・工業・商業の振興施策を進め、教育文化の振興など、高度な住民福祉について定めてあります。

## (3) 実施計画

基本計画に定められた施策の大綱を、現在の町の行財政のベースの上にとどのように実施すべきかを明らかにしています。

ここでは基本構想について取り上げました。

## 基本構想

### 《総論》

昭和七十年を目標とした「第二次国見町振興計画」は、町民憲章を軸に「明るく住みよい町」づくりに努めます。この目標を達成するために「健全な人づくり、明るくしあわせな暮らしづくり、調和のとれた産業開発」を重点的施策と考えています。

わが町の地形、情勢、立地条件を再確認し、特殊性を十分生かすことが大切です。待望久し

かった高速道の開通を始め、徳江大橋の架橋などで一段と飛躍した交通網を活かした町の姿などを明らかにし、産業とともに栄える工業開発、商業振興施策を進めるほか、教育文化の振興に積極的に努めます。

### 《人口および就業構造の展望》

人口は横ばい

わが町の人口は、昭和五十五年国勢調査から横ばい状態が続いています。人口の自然動態は、微少な増加しています。就業構造は、第一次産業は機械化などから省力化が進んで減少し、第二次、第三次産業が伸びを示します。



# 昭和70年 飛躍する国見町の

## 《土地利用と交通》

限られた土地を有効に

昭和五十九年に策定された国見町土地利用計画にのっとり、市街化区域の拡張整備と、新規工業立地の条件整備を図ります。

また、恵まれた交通態勢を活かし、さらに、交通網の充実を図り、国道四号の片側二車線の早期実現をめざします。

## 《産業の振興》

農業……農業近代化

農業所得を高めるために、大型機械化による省力・集約的農業を進め、農産物の流通機構の改善などに努め、農業経営の近代化を進めなければなりません。

工業……工業誘致

地元との産業と調和がとれて、生活環境の保全ができるような企業の誘致を積極的に進めます。

商業……近代的な経営意識をもって

わが町は、古くから宿場町として繁栄してきましたが、人口の流出や行動範囲が広がったことで商業は停滞しています。商業の振興を図るためには、流通界の現況を認識し、近代的な経営意識と、消費者購買行動に応じた経営感覚を備えなければなりません。さらに、中小企業の専門化、協業化の促進が必要です。

## 《生活環境の整備》

しあわせな暮らしづくり

健康で快適な生活を営むために、生活環境は住民の一番身近な問題なので、特に重視しなければなりません。福祉対策の充実、公園や施設整備、下水道の完備、広域的なごみ処理体制など、文化的な生活環境の実現に努力します。そのほか、高齢者対策、母子福祉対策、身心障害者対策などの強化を図ります。

## 《教育の振興》

健全な人づくり

次の世代を担う青少年の健全育成、現代社会におけるふさわしい人づくりをめざします。施設整備の充実と努め、情操教育には、家庭・学校・社会が三者一体となってあたります。余暇時間の健全な活用と健康管理のため、運動公園の整備を図ります。

## 《行財政の指針》

住民サービスの向上と、行政の広域処理

住民福祉の母体である行財政の運営については、機構組織の強化とともに、事務処理の機械化による経費の節減を図ります。しかし、町単独では改善向上も難しいので、国、県にも適切な対策と事業費補助、負担枠の拡大を進めていきます。





▲一心堂薬局前での献血活動

# 献血まつりで

## 十回以上の 献血協力者を表彰

町献血推進協議会が四月二十  
四日役場で開かれました。  
その席上、昭和六十年年度の献

大八	松	武	遠	小池	大松	秦	斎	渡	小	佐	朽	東	斎	紺	古	遠	渡	鈴	紺	吉	黒	武	大	斎	古	中	石									
波	島	戸	浦	田	地	藤	芳	正	加	正	津	藤	木	月	林	間	藤	野	川	野	忠	重	勝	義	俊	昌	節	秀	森	規	栄	良	昭	勝	三	
子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子
斎	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	
貴	長	教	克	弘	浩	信	春	和	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	
和	一	子	成	美	子	真	朗	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦



▲武田収入役から感謝状を受ける森林喜助さん

血功労者表彰が行われ、十回以上  
の献血協力者に、武田収入役  
から感謝状と記念品が贈られま  
した。

三十回以上 ▲森林喜助(徳江)  
三十一回以上 ▲松浦新一(藤田)  
三十回以上 ▲鈴木廣茂(山崎) ▲半沢豊  
(藤田) ▲松浦新一(藤田)  
二十回以上 ▲斎藤規雄(徳江)  
▲徳江博典(藤田) ▲吉田と  
き子(藤田) ▲高橋力(山崎)  
▲菅野昭雄(藤田) ▲大竹ツ  
ネ(山崎) ▲菅野信朗(内谷)  
▲渋谷和洋(光明寺)  
十回以上 ▲松浦新一(大木戸)  
▲稲尾和子(小坂) ▲遠藤豊  
和(藤田) ▲佐久間ツヤ子  
(藤田) ▲大波建一(森山)  
▲佐藤政子(貝田) ▲森晴子  
(貝田)

事業所表彰 ▲国見電子(株)  
▲福島国見町農協 ▲生協国見  
店

① ある村に、体のじょうぶな  
他のぜったい君がいました。  
ぜったい君の自慢は、ケガ  
や病気をしたことのない健  
康な体でした。

② 「献血なんか関係ないね。  
事故になんかあいつこないし、  
見てくれ、このじょうぶな  
体。ぜったい、だいいじょうぶ  
さよ。」

③ さいきん、村では交通事故  
や病気の手術があいつぎ、  
血液が不足していました。  
お医者さんは大いそがし。  
この村の診療所には、名医  
のうわさも高いカニ先生が  
いましたが、カニ先生は、  
診療もきることながら、カ  
バ村長と献血のお願いに村  
を歩くことが多い毎日です。  
た。

④ そんなある日、ぜったい  
だいいじょうぶなはずのぜっ  
たいい君が、交通事故にあい、  
カニ先生の診療所に運ばれ  
てきました。

「ウーン、痛いよ！助けて  
よ！」

### ぜったい君の献血読本



事業所統計調査

7月1日現在で  
実施

調査にご協力を

国の最も基本的な統計調査の一つである「事業所統計調査」が7月1日現在で、全国いっせいに  
行われます。

この調査は、わが国の経済活動の基礎である事業所の実態を全国および地域別に明らかにすることが目的です。調査の結果は、国・地方公共団体が  
行う経済計画、地域開発計画、都市計画などの諸  
施策や、民間における事業計画の基礎資料として  
広く利用されます。

調査の対象は、農林漁家を除くすべての事業所  
で、会社、工場、商店、病院、学校、国鉄・私鉄、  
ホテル・旅館のほか、官公庁や神社・仏閣なども  
対象となります。

今回の調査では、全国で約700万の事業所が見  
込まれています。

この調査は、次の3種類に分けて行われます。

【甲調査】民間経営のすべての事業所が対象とな  
ります。調査事項は、事業所の名称、所在地、経  
営組織、事業の種類、従業員数など8項目ですが、  
会社組織の事業所の場合はこの外に資本金額など  
6項目が加えられます。

【乙調査】サービス業のうち、物品賃貸業（レン  
タカー業、貸しポート業など）、ホテル・旅館、ク  
リーニング・理容・浴場業、映画業、娯楽業、駐  
車場業、自動車整備業、修理業、写真業、結婚式

場などの対個人サービス業を対象に、その名称、  
現金給与支給額、最近の1年間の総売上高につい  
て調査します。なお、乙調査は、一部の事業所を  
選定した標本調査により行います。

【丙調査】国、地方公共団体および日本国有鉄道  
の事業所を対象に、その名称、所在地、事業の種  
類、職員数について調査します。

なお、調査の方法ですが、「甲調査」と「乙調査」  
は都道府県知事から任命された調査員が、6月下  
旬から事業所を訪問して調査票への記入を依頼し、  
その後回収にまいます。場合によっては、調査  
員が、直接聞き取り調査をすることもあります。

「丙調査」は、調査員によらず、国、地方公共  
団体および日本国有鉄道の組織を通じて行われま  
す。

今回の調査は、前回調査から5年目に行われる  
ものであり、この間に産業構造なども相当変化し  
ており、その実態を明らかにするものとして、調  
査の結果が待ち望まれています。

ご協力をお願いします。

調査にご協力を



身近にある野草・薬草

(23)

タラノキ

北海道から沖縄まで各地に見  
られる落葉低木で、幹に鋭いと  
げがあり、直立して二〜四mほ  
どに伸び、上のほうで分枝しま  
す。葉は二回羽状複葉で、1m  
ぐらゐもある大きい葉を四方に  
傘のように突き出します。

花は小さな白色で多数咲きま  
すが、一つの花はがく、花弁、  
雄しべ、花柱いずれも五の数か  
ら成り立ち八月ごろ開花します。

▼薬用▲  
幹皮をつけた樹幹を秋に採取  
し、刻んで日干しにします。こ  
れがタラボクの名で市販もされ  
ています。

糖尿病に、樹皮を含めた樹幹・  
連枝草・枇杷葉各五グラム、い  
ずれもよく乾燥したものを、水  
四百ccで半量に煎じて一日量と  
し、三回に服用します。これに  
フジバカマの全草を干したものを  
五グラム加えてもいいです。



この民間療法は古くからあり、  
副作用がないのでいいです。

▼食用▲  
若芽の基部からもぎとります  
が、とげに刺されないように注  
意してください。

料理 天ぷら（衣は薄め）のう  
まさは格別。網の上で焼きなが  
らみそをつけて食べるみそ焼き、  
ゆでておひたしやこまあえ、煮  
びたしなどに。

・タラノメの天ぷら  
作り方 ①タラノメは外側のか  
たい葉を二〜三枚かき落とし、  
根本の部分に十文字の切り込み  
を入れ、平均にやわらかく仕上  
るようにする。

②①に衣を薄めにつけて揚げ、  
天つゆと大根おろし、七味とろ  
がらしや塩を添えます。

（山野草カラー百科から）

# ふるさとの文化財

26

## 埋蔵文化財包含地

### 割田遺跡

菊池利雄

石母田のほぼ中央部、旧西沢川西岸部に弥生時代の遺構である割田遺跡 山形県石母田町西沢一丁目、山形県石母田町西沢六丁目がある。

この遺跡は、大峠山南麓に源を発する西沢川と蛭沢川とが接近する、上流部山地の山田付近でおこった大規模な地すべりによる、土石流によって形成された石母田麓扇面と呼ばれる、扇状地形の扇端部にあつて、湧水地の近くに営まれていた遺跡であつたが、昭和五十三年に施工された、伊達西部圃場整備事業によって損壊を受けている。

紀元前三世紀頃、大陸文化の強い影響のもとに、北九州の地に稲作と機械、金属器などの使用を伴つた新しい文化が誕生し、

それまでの狩猟、漁撈と自生植物の採集などを生業としていた縄文時代から、弥生時代と呼ばれる農耕社会へと移行する。

この文化は次第に東進して、紀元前一世紀頃には東北地方の南部国見の地にも達し、湧水地や河川沿いの低湿地などに稲作が始められていった。国見町におけるこの時代の遺跡としては、稲の穂摘みに使用されていた石包丁が出土している石母田の清水遺跡、光明寺の山田遺跡、裁断や土掘具に使用されたといわれる蛤刃石斧が出土した本橋の割田遺跡や泉田の堰下遺跡があるほか、西大枝の竹ノ内遺跡、光明寺の志久遺跡、高城の山居中山の両遺跡、徳江の佛供田遺跡などがある。

割田遺跡からは圃場整備後、佐藤喜藤治氏 福沢在任が水田の耕作中に偶然の機会から、蛤刃石斧、土師器片、須恵器壺などを採集され発見された遺跡で、その全容は明らかでないが遺物の出土状況などからみて、弥生時代から奈良、平安時代へと続く複合住居跡の可能性が強い。

この出土した遺物の中で特筆すべきものとして太形蛤刃磨製石斧がある。長さ二十・六cm、幅七・七cm、厚さ五cm、重さ一

二kgで表面は黒色に近い。下半分(刃部)付近は良く磨かれており、製作上の痕跡と考えられるスリットが多く観察できる。また刃先は両刃であるが、使用によると思われる剝離痕も見られる。一方、上半部には自然に近い面も残すが、中央部付近に楕円形状に磨滅痕があり柄を支えた部分かと想像される。断面形はほぼ楕円である。(伊達西部、森山条里)

割田遺跡は一部が損壊されたとはいえ、遺物の包含が多いと見られ、国見町における弥生時代のを代表する遺跡であり、今後の詳しい調査が期待される。

参考文献

『国見町史』一・二巻、『伊達西部条里遺構Ⅴ』一 森山条里(Ⅱ区)発掘調査報告 福島県教育委員会



## 徳江南部地区で 『実年会』が産声

― 将来、平穏に老境に入り、神祕的葛藤もなく、自己を肯定し、他人を責めず、過去を悔やまず、現在を無駄にせず、日常生活と人間関係に心から満足する生活を目指し、実年時代に貯えておきたい見聞、教養を高め、相互の親睦を図りながら、豊かな年輪を重ねよう ― という目的のもと、自分たちで計画し、自分たちで運営してこうという会が発足しました。

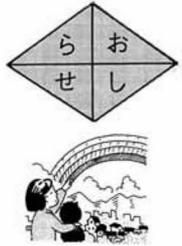
徳江南部実年会がそれで、徳江南部地区の五十代、六十代の男女を対象に募集したところ、六十三名の入会があり、五月四日午後七時から、徳江南部公民館で設立総会が行われました。

設立総会には、四十五名の出席があり、会則や今後の事業計画、役員選出などが協議され、会長としてはこの実年会発足の世話の人一人である蓬田正敏さん、副会長には村上太一さんと大波トシ子さん、

会計に村上竹男さんと村上ハルさん、庶務に佐野正治さん、監事に実沢三之助さんと佐藤ノブさんなどを決めました。総会終了後、第一回目の学習会に入り、大和金三郎森江野小学校長の講話を熱心に聞きました。この実年会は、徳江南部公民館を会場とした学習会を年五回ほど開催し、そのほかに、史跡探訪や研修旅行なども行う予定です。



▲産声をあげた徳江南部実年会



**鉄道防犯防止運動を  
実施**



国鉄では、例年五、六月になりますと、自動車による踏切事故や子供の線路遊び、置石による列車支障などの事故が多発する傾向にあるため、六月五日から六月二十五日まで「鉄道防犯防止運動」を実施することになりました。

- 一、新幹線の中に入り入らない。
- 二、線路に石を置くなどのいたずらをしてない。
- 三、線路で遊ばない。
- 四、汽車に物や石を投げない。
- 五、線路の近くで風揚げをしない。
- 六、線路の近くでは、子供を遊ばせないようにします。子供さんの身の安全にかかわることです。

○踏切では

- 一、必ず一旦停止し、左右の安全を確認する。
- 二、踏切警報機が鳴っているとき鳴り止まったときは絶対に踏切に入らない。
- 三、踏切でギアチェンジをしない。

これはエンストの原因になる。踏切上でエンスト、脱輪したときは、あわてずに「非常ボタン」を押して列車を止めるのを手配をする。「非常ボタン」のない踏切では発炎筒や赤色旗または赤色燈などを振って列車に危険を知らせる。

※踏切事故は、列車の安全運転を支障するのみでなく、重大な事故につながります。十分に注意しましょう。

**自転車安全利用推進月間**  
五月一日(木)  
五月三十一日(土)

スローガン  
「気を付けて」 朝のひと  
言 わすれずに

- 運動の重点
- 自転車の正しい安全な乗り方の推進
- 自転車の点検整備及びTSMマークの貼付促進
- 秩序ある駐輪の推進

○夜間走行におけるライト点燈及び反射材の貼付促進  
自転車は、軽便な乗り物として、広く普及してありますが、これに伴って交通事故も増加しています。

このため、五月中を自転車安全利用推進月間と定め、この機会に自転車利用者を中心とした交通安全意識の高揚を図ろうとするものです。

**桑折警察署からの  
お願い!!**



★最近農薬のバラコートによる自殺や、誤って飲んだ事故が増加しており、警察としては農薬などに対して次のような呼びかけを行っています。

- 注意せよ、便利なようでも毒は毒。
- 毒物は、きちんと鍵かけ安全保管。
- 移し替え、誤って飲み命と
- 余らすな、予定に合わせその都度買おう。
- とにかく吐かせてすぐ「一一九番」

★犯罪捜査にご協力をお願いします。

- ◇被害にあったら必ず届け出を。「一一〇番」
- ◇聞き込みにご協力。
- ◇犯罪について知っていることは通報を。

**夜間の戸籍届書の  
取り扱いについて**

桑折警察署 八二二一五  
当町は夜間、警備保障方式により無人化となっていますが、緊急止むを得ない事情で、戸籍の届出(出生届、死亡届、養子縁組届、婚姻届、離婚届など)をする必要性が生じた場合には、その旨を次のところに連絡して、所定の手続を取られますようお願いいたします。

記

- (連絡先)
- 住民課長 松浦幸雄 ☎ 八五二一八四〇
- 戸籍住民係長 高橋正夫 ☎ 八五二一五〇三

**交通教育  
専門員を設置**

この度、従来の交通指導員制度に替わり、新たに交通教育専門員制度を設けました。

交通教育専門員とは、交通の安全に関する知識の普及、及び交通安全思想の高揚を図るために設置されたものです。

設置の理由は、昭和五十年代半ば以降の事故の増加傾向、特にドライバークの悪質無謀な運転、自転車利用者や歩行者側の交通ルール無視などに起因する事故が増していること、また、車両台数及び運転免許保有者の増加に伴う「交通の肥大化」、あらゆる階層にわたるドライバークの増加による「運転者の多層化」に見られる交通社会の構造変化などを踏まえ、交通事故の撲滅を期するためには、交通安全意識の高揚を図るための安全教育が必要であり、しかも、長期にわたって教育効果を持続させることが重要であるとの考えによるものです。

四月一日付で交通教育専門員に委嘱された大沼勉さん(山崎字松谷)は、「地域の実情に即した実践的な安全教育を展開したい」と抱負を語ってくれました。また、十年間にわたり交通指導員として活躍してくださった佐藤正康さん(藤田字堤下)、朽木好秋さん(藤田字町裏)の両指導員に、紙面をお借りし、厚くお礼申しあげます。

ありがとうございました。

# 善意の窓

町社会福祉協議会に

◆佐藤敏夫さん(駅前)から  
一万円―故健蔵さんのご遺志

◆市川正さん(上野)から  
三万円―故キミさんのご遺志

◆佐藤ハツミさん(錦町)から  
二万円―故キチミさんのご遺志

◆朝日生命桑折営業所職員一同  
から  
五万円

藤田小学校に

◆市川正さん(上野)から  
二万円―故キミさんのご遺志

◆奥山モトさん(山崎小館)から  
雑布五十枚

大木戸小学校へ

◆松浦健三郎さん(貝田)から  
鯉のぼり(吹流し)、ま鯉二、  
ひ鯉二)

◆渡部武男さん(高城)から  
鯉のぼり(吹流し)、ま鯉一、  
ひ鯉二)

森江野小学校へ

◆池田カツ子さん(山崎小館)  
から  
三万円―児童用図書購入資金  
として

◆昭和六十年年度森江野小学校卒

業生一同から  
講堂用の敷物(ござ)一式  
東北中学校に

◆市川正さん(上野)から  
二万円―故キミさんのご遺志

◆国見町文化振興基金へ

◆泰三郎さん(大町南)から  
十万円

◆町文化団体連絡協議会から  
九万一千円

国見町奨学資金へ

◆本田吉助さん(本町)から  
五十万円―故ようさんのご遺志

## 戸籍の窓口

(4月受付分)

出生おめでとうございます

子(たかふ)	の(ゆみ)	名(かみ)	保(ま)	護(あ)	者(お)	一(あ)	裕(あ)	勉(あ)	助(あ)	男(あ)	雄(あ)	光(あ)
之(たかふ)	之(ゆみ)	之(かみ)	之(ま)	之(あ)	之(お)	之(あ)						
之(たかふ)	之(ゆみ)	之(かみ)	之(ま)	之(あ)	之(お)	之(あ)						
之(たかふ)	之(ゆみ)	之(かみ)	之(ま)	之(あ)	之(お)	之(あ)						

結婚おめでとうございます

名(明)	子(明)	男(明)	子(明)	孝(明)	江(明)	一(明)	子(明)	誠(明)	紀(明)	一(明)	江(明)
利(明)	明(明)										
重(明)	津(明)	奈(明)	津(明)	孝(明)	治(明)	美(明)	純(明)	春(明)	健(明)	伊(明)	美(明)
重(明)	津(明)	奈(明)	津(明)	孝(明)	治(明)	美(明)	純(明)	春(明)	健(明)	伊(明)	美(明)

おくやみ申し上げます

名(次郎)	年(82)	部(泉)	落(下)
次(次郎)	81	田(田)	取(取)
助(次郎)	88	島(島)	谷(谷)
助(次郎)	77	耕(耕)	前(前)
ト(次郎)	72	野(野)	前(前)
シ(次郎)	77	駅(駅)	表(表)
健(次郎)	88	母(母)	野(野)
久(次郎)	78	上(上)	田(田)
キ(次郎)	77	員(員)	野(野)
ナ(次郎)			田(田)

## 人口と世帯

5月1日現在(前月比)4月中のうごき

人	男	5,798人	(-3)	転	入	31人
	女	6,212人	(-11)	転	出	45人
口	計	12,010人	(-14)	出	生	8人
世帯数		2,880戸	(+5)	死	亡	8人

## 昭和六十一年度 ミスビーチを募集

一応募資格

○身長百五十七cm以上で年齢  
十八〜二十二歳の独身女性  
(高校生を除く)

○県内在住、在学者または県  
内出身者

○七月下旬から八月下旬まで  
の間、PR事業に従事でき、  
福島市内に通勤可能な人

一募集人員 十名

一選考期日 六月二十九日正午  
一選考会場 福島市市民会館

一募集締切 六月二十五日

一応募方法 官製ハガキでお申  
し込みください。

## 心配ごと相談日

場所:役場二階相談室(東側入口からお入り下さい)  
時間:9時~12時

こまったことや、相談ごとがありましたら、  
お気軽にご相談下さい。秘密は絶対に守ります。

[相談員]

5月24日(土)	高橋 隆雄	山内 聰子
6月5日(木)	吉川 弥吉	牧野 容子
6月14日(土)	桜沢 正	築瀬 貞子

5月 草月(さつき)

18日(日) 森江野小運動会  
21日(水) 小満  
24日(土) 満月  
25日(日) 藤田小運動会  
30日(金) 消費者の日

6月 水無月(みなづき)

1日(日) 気象記念日  
5日(木) 環境週間  
6日(金) 芒種  
7日(土) 計量記念日  
15日(日) 父の日



# みんなでスポーツを!

## 自然の中での爽快感を仲間と!

### 昭和61年度 事業計画(スポーツ大会等)

月・日	会 名	内 容	対 象 者	会 場
5:18	春季職場対抗ソフトボール大会	男女混合トーナメント戦	町内職場勤務者	運動場
6:8	県民スポーツ大会町予選会(壮年ソフト)	トーナメント戦	40歳以上男子	運動場
6:17	県民スポーツ大会町予選会	ブロックリーグ戦	30歳以上女子	体育センター
6:19	(家庭バレーボール)	決勝トーナメント戦		体育館
6:29	県民スポーツ大会町予選会(バドミントン)	団体戦・トーナメント戦	一般男女	体育館
6:29	県民スポーツ大会町予選会(卓球)	団体戦・トーナメント戦	一般男女	体育館
7:6	県民スポーツ大会町予選会(軟式テニス)	団体戦・トーナメント戦	一般男女	テニスコート
7:20	県民スポーツ大会(県北大会)	トーナメント戦	各町代表チーム	福島市
7:27	伊達スポーツ大会町予選会(ソフト)	トーナメント戦	一般男子	運動場
7:27	伊達スポーツ大会町予選会(剣道)	トーナメント戦	一般男子	体育館
7:27	伊達スポーツ大会町予選会(柔道)	トーナメント戦	一般男子	体育館
7:31	少年ソフトボール大会	トーナメント戦	各小学校高学年	運動場
8:3	伊達スポーツ大会町予選会(バスケット)	トーナメント戦	一般男女	体育館
8:10	伊達スポーツ大会町予選会(バドミントン)	トーナメント戦	一般男女	体育館
8:10	伊達スポーツ大会町予選会(卓球)	トーナメント戦	一般男女	体育館
8:17	伊達スポーツ大会町予選会(軟式テニス)	トーナメント戦	一般男女	テニスコート
8:17	伊達スポーツ大会町予選会(バレーボール)	トーナメント戦	一般男女	体育センター
8:31	スボソフトボール大会	トーナメント戦	小学生	運動場
9:7	伊達スポーツ大会(バスケット)	トーナメント戦	各町代表チーム	体育館
9:10	町長杯争奪ソフトボール大会	トーナメント戦(ナイター)	一般男女	県北中グラウンド
9:17	町長杯争奪ゲートボール大会	予戦リーグ戦	愛好者	福祉センター前広場
9:20	町長杯争奪ゲートボール大会	決勝トーナメント戦	愛好者	福祉センター前広場
10:4	高齢者・婦人運動会	10種目程度	高齢者・婦人	福祉センター前広場
10:19	桑折町・国見町少年剣道大会	団体・個人戦のトーナメント	両町小中学生	桑折町
10:26	第2回国見町綱引き競技大会	トーナメント戦	一般男女	体育館
11:10	町内一周駅伝競走大会	10区間リレー	一般男女	町内
11:16	第2回郡綱引き大会	トーナメント戦	各町代表チーム	梁川町
12:7	伊達郡内一周駅伝競走大会	12区間リレー	各町代表チーム	伊達管内
12:14	町長杯争奪家庭バレーボール大会	トーナメント戦	婦人	体育館
3:2	町民卓球大会	トーナメント戦	一般男女	体育館

### 昭和61年度 事業計画(スポーツ教室・講習会)

月 日	事 業 名	内 容	対 象 者	会 場
4 25	ソフトボール講習会	ルールと審判員動作	愛好者	福祉センター
5 15	ゲートボール講習会	ルールと審判員動作	愛好者	福祉センター
5 27	軟式テニス講習会	ルールと審判員動作	愛好者	福祉センター
6月~7月	硬式テニス教室	基 本	一般男女	テニスコート
6 中旬	婦人水泳教室	水に親しむ	婦人	町民プール
7 上旬	親子の水泳教室	水に親しむ	親子	町民プール
10月~11月	バドミントン教室	基 本	一般男女	町民体育館
12	長短なわとび教室	跳び方の基本	一般男女	町民体育館
1月~2月	町民スキー教室	基本から応用	一般男女	未 定
2	町民卓球教室	基 本	一般男女	町民体育館

わ  
だ  
い



### 老人保健法による 機能訓練始まる

町では、心身の機能が低下している方で、医療終了後も継続して機能訓練の必要な方を対象に、五月七日から機能訓練を始めました。

脳血管障害などで障害のある方は、身体機能をもとにもどすことは、容易ではありません。日常生活に支障がでないよう、基本的動作の訓練を続ける



▲「あつかし荘」で開始された機能訓練

ことよって、障害の回復や悪化を防ぐことができま

す。特別養護老人ホーム「あつかし荘」で、毎週水曜日午後一時半から三時まで行われ、月二回は、藤田総合病院の理学療法士の訓練を受けるようになりま

す。脳血管障害などで、運動機能に障害のある方で希望する方は、役場保健課までご連絡ください。

### 農業祭 にぎわう

好天に恵まれた五月五日、恒例の農業祭が観月台公園で開かれ、近隣の農家の人たちや、町内の子供連れの人たちで終日にぎわいました。



▲今年もにぎわった農業祭

た屋台の店には、色とりどりの草花から、苗木、龍、金魚、昔なつかしい綿あめ屋などが並び、買い求める客が切れ目なく続いています。

また、町民体育館では、今年で第十回目を迎えた「趣味の合同習作展」が開催され、書をはじめ、写真・日本画・短歌・俳句・ハリ絵など、日ごろの腕を競った作品が展示され、いずれおとらぬ秀作に、買物帰りの人たちも、熱心に見入っていました。

### 県消防操法競技 県北地方大会 開かれる

昭和六十一年度福島県消防操法競技県北地方大会が、四月十二日、福島市荒井の福島県消



▲さあ、いざ競技スタート!!

防学校校庭を会場に行われま

した。この競技大会は、隔年ごとに開かれる大会で、国見町からは第三分団（森江野）が出場しました。

競技が始まると同時に雨が降る最悪の天気となりましたが、当町の出場になると雨が止み、指揮者の大波良一さん、一番員の佐久間勝博さん、二番員の菊地敏裕さん、三番員の石川正博さん、補充員の逢田正一さんの各選手は泥まみれになり競技を行いました。

団長以下幹部団員、それに婦人防火クラブの人たちの応援を受け、日ごろの練習の成果を十分發揮しましたが、惜しくも入賞できませんでした。

### 県北中学校の 上棟式が行われる

昨年七月に改築工事が始まった県北中学校の上棟式が、四月十七日、工事現場で行われまし

た。式には、菊地町長はじめ町関係者、議員、工事関係者ら八十名が出席し、工事の早期完成と安全を祈りました。

この県北中学校新校舎は、鉄筋コンクリート三階建て、約五

千平方メートル、普通教室十五、特別教室十、多目的ホールなどが設置され、工事費は七億四千六百万円となつて、今年八月には新校舎が完成の予定で、昭和二十五年に建てられた旧校舎は体育館、講堂を除いて姿を消すことになりました。



### 編集日記

○先日ソ連の原子炉の爆発で、遠く離れた私たちの国まで放射能が流れてきました。量は、人体には影響のない少量でしたが、新ためて原子力の恐ろしさと安全性について考えさせられました。

○五月に入り、野や山が新緑に包まれ、すがすがしい季節となりました。健康のため、森林浴をかねながら、山にでも出かけてみてはいかがでしょうか。 S